

日本の真ん中、人が真ん中！中央市

中央市が掲げる将来像一。

それはすべての市民が豊かで快適な生活を送ることができる「実り豊かな生活文化都市」です。

その将来像を現実のものにするため、

「自立した活力ある市の創造」「自治力の確かな市の創造」
「文化度の高い市の創造」「やすらぎとふれあいのある市の創造」の

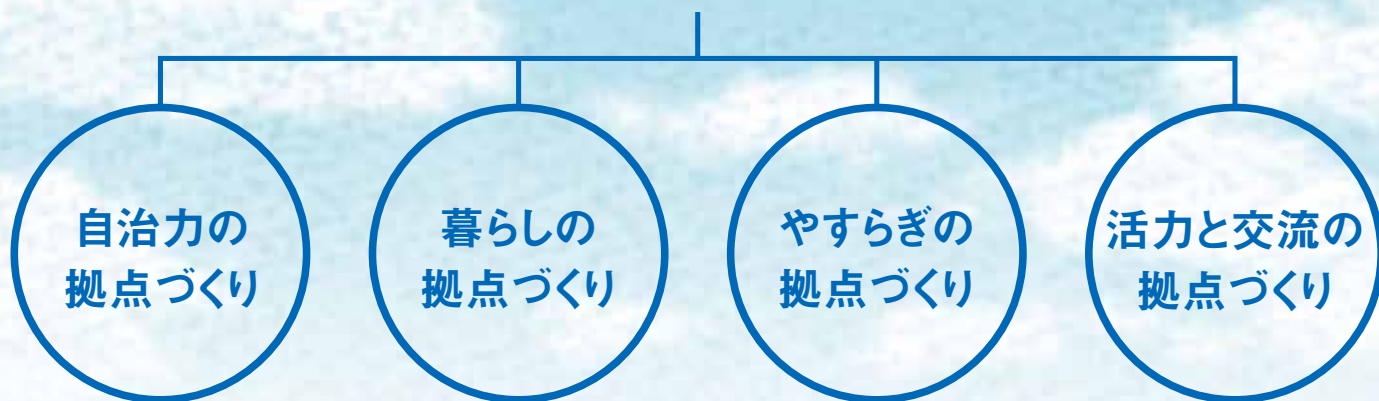
4つを基本理念に据えています。

さらに将来像と基本理念を達成するための基本政策として、

「自治力の拠点づくり」「暮らしの拠点づくり」「やすらぎの拠点づくり」「活力と交流の拠点づくり」を進めています。



実り豊かな生活文化都市を目指して



中央市のキャラクター紹介



とまチュウ

市内のとある農園で生まれたトマトの妖精。中央市や特産品のPRに奔走する、中央市商工会青年部所属の女の子です。



あさり よいち 浅利与一

鎌倉時代に豊富地区を領有していた甲斐源氏の武将 浅利与一 義成公。壇ノ浦の戦いでも活躍した弓の名手で、「三与一」の一人と称されています。



たか お高やん

明治初期、田富地区で生まれた美声の持ち主。釜無川築堤工事の際、美しい歌声で『粘土節』の音頭をとり、村人を勇気づけて、難工事を完成させました。

効率的で温かみのある 市役所の創造

市民の皆様にとって、頼りになる身近な存在であり続けるため、行政運営のさらなる効率化、財政運営の健全化、職員の資質向上、誰もが利用しやすい環境の整備に取り組んでいます。

自治力の
拠点づくり



玉穂庁舎
ポルトガル語の
通訳

現在、市では、田富庁舎の増改築を含む庁舎整備をすすめています。誕生から10年、既存庁舎を活用した3庁舎体制で運営してきましたが、今後は「効率的で温かいこれからの行政サービスの協働拠点」をコンセプトに、田富庁舎を本庁舎とする1本庁舎2支所体制の構築に取り組んでいます。

ロビーに、ベビーベッドやソファ、多言語によるわかりやすい案内板、ポルトガル語や手話の通訳者を配すなど、すべての方が利用しやすいよう窓口サービスの充実をすすめています。平成28年4月には、住民票や戸籍証明書のコンビニ交付も始まります。

企業誘致に成功する一方、コンビニ収納を実施するなど、収納の利便性を高めることで税金の徴収率もアップしており、財政状況は安定しています。今後も引き続き行政改革を推進するとともに、職員研修や人事交流を通して、職員の能力、資質の向上に努めていきます。



玉穂庁舎手話の通訳



中央市役所田富庁舎



小中学生と市長の対話室

住民参加のまちづくり

さまざまな媒体を活用した双方向での情報共有化を推進し、市政運営に市民の皆様の声を積極的に反映するとともに、民間企業やNPO、自治会等との協働もすすめています。

自治力の
拠点づくり



やまなしのへそブログ

広報

広聴



中央市のホームページ

ホームページから送付できる
「市長への手紙」

市では市民生活に広く影響を及ぼす計画や条例、さまざまな施策を決める際に「パブリック・コメント制度」を導入しており、市長と直接話ができる「市民と市長の対話室」や「タウンミーティング」、ホームページから意見を送付できる「市長への手紙」などを通して広く市民の皆様の意見や提案をお聞きし、積極的に市政に反映しています。また、未来を担う子ども達と市長が直接意見交換する「小中学生と市長の対話室」は10年目を迎え、夏休みの恒例行事となりました。



タウンミーティング

一方、民間企業やNPO法人との協働がすすむ公共施設の管理運営についても、利用状況や市民のニーズに応じた運営体制の見直しを適宜行うなど、より多くの方に活用される公共施設づくりをすすめています。

今後も、市民の皆様が自治意識を持ち、主体的に自治活動が行えるよう、ホームページ等を活用した双方向での情報共有化に努めるとともに、自治会など自治組織の活性化に向けた支援も引き続き行っていきます。



日本語教室



外国籍の住民との交流会「フレンドシップちゅうおう」



中学生海外語学研修



中学生海外語学研修でケアンズ市役所（オーストラリア）を表敬訪問

多様な文化とのふれあい

外国籍住民の多い地域特性を活かし国際交流を推進。
多様な文化の理解と共生をすすめる一方、海外での語学研修を実施するなど、
国際感覚豊かな人材の育成にも取り組んでいます。

自治力の
拠点づくり



ポルトガル語版情報誌
「MANAKA」

市では、国際交流協会やNPO法人などと連携し、行政情報や災害時の情報伝達手段の多言語化を行うとともに、学習支援教室や日本語教室、外国人法律相談所を開設するなど、円滑な市民生活を支援しています。また、在住外国人との交流会「フレンドシップちゅうおう」や山梨大学の留学生との「たべもの異文化交流会」といった、外国籍住民が多い地域特性を活かした身近な国際交流の機会を設けるなど、相互の理解と共生によるまちづくりをすすめています。

一方、未来を担う中学生には、海外語学研修として、オーストラリアでのホームステイとファームステイを実施。国際感覚豊かな人材の育成にも努めています。

中央市の外国籍住民の登録者数は、平成28年1月現在で1356名。ブラジルをはじめ、ベトナム、フィリピン、中国など、さまざまな国籍を持つ人々が家族で生活しており、市内の小中学校や保育園に外国籍児童が多く在籍しているなど、多様な文化が日常生活のなかに溶け込んでいます。

こころ豊かな暮らしへの 舞台づくり

暮らしの
拠点づくり

自然景観や田園風景と、都市的景観の融合する中央市らしい景観を守りつつ、
インフラを整備して、さらに住みやすい住環境づくりに取り組んでいます。



市民の足、とまチュウバス

市内にある2つのＪＲ駅周辺の整備と、市コミュニティバス（とまチュウバス）の運行により、交通網の利便性の向上にも取り組んでいます。すでに市民の足として親しまれている「とまチュウバス」では、定期的にバスツアーを実施するなど、さらなる利用促進を目指しての取り組みも行っています。

2027年の開業を目指し、リニア中央新幹線の建設事業がすすんでいます。本市隣接地にリニア新駅が設置されることが決まり、期待とともに、新たな課題も生まれています。市では、さまざまな可能性を見据え、市民の皆様の声も取り入れながら、ＪＲ駅との交通連携の強化



通勤通学に利用される東花輪駅

や公共バスとの連携、公共施設、アクセス道路の整備といった開発計画に取り組んでいます。

市内のＪＲ身延線「東花輪駅」と「小井川駅」は、多くの市民の通勤通学に利用されています。市では、駐輪場の整備や送迎車専用レーンによるロータリー化など、駅周辺を整備し、利用者の利便性を図っています。

都市計画に基づき生活道路の整備を行うとともに、橋梁、歩道についても、必要に応じて補強や保全を行っています。また、現在269戸ある市営住宅については、老朽化に伴う建て替えや改築を順次実施し、安全で快適な住空間を提供しています。



小井川駅の通学風景



久保団地



新山梨環状道路により利便性が向上

快適で環境に配慮した 社会の実現

暮らしの
拠点づくり

3R運動や新エネルギーの活用を積極的に推進。
豊富地区では、生活排水や生ごみを衛生堆肥に加工して販売するなど、
循環型社会の実現に向けた取り組みがすすんでいます。



庁舎に設置されている使用済み小型家電回収ボックス

環境負荷の少ない循環型社会の実現に向け、市内自治会との連携のもと、ごみの分別回収と3R運動を積極的に推進しています。定期的な回収に加え、24時間受付可能なリサイクルステーションと、携帯電話やパソコンといった使用済み小型家電の回収BOXを、市役所の各庁舎に設置しています。また、すでに公共施設への導入がすすんでいる太陽光発電については、補助金を支給するなど個人住宅への普及を促進しています。

一方、生ごみの分別回収とごみの減量化にも取り組んでおり、生ごみ処理機器などの購入に際し補助金を助成しています。市内豊富地区にある「豊富クリーンセンター」では、生活排水から出る汚泥と生ごみから堆肥を生成し、「とよみクリーン」の名で市内各所で販売しています。



とよみクリーンセンター外観



便利な24時間リサイクル集積所



衛生堆肥「とよみクリーン」



豊富第一保育園に設置された太陽光パネル



地域と連携して実施される防災訓練



地域の安全を守る消防団

安全・安心の地域づくり

「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、地域力を高め、災害や犯罪に強い、安全安心な地域づくりをすすめています。

暮らしの
拠点づくり



地域ボランティア「子ども守り隊」

災害に強いまちづくりを目指し、ライブラインの耐震化や防災無線のデジタル化などのインフラ整備をすすめるとともに、「防災講習会」や「地域防災リーダー養成講座」を開催するなど地域を核とした防災体制の確立にも努めています。また、市医師会とは災害時の医療救護所の設置を締結しており、発災時に迅速な救命活動を行うための体制を整えています。一方、外国籍住民や要介護者、高齢者など、自力で避難することが難しいと思われる要配慮者についても、自治会、民生委員、消防団との連携のもと「中央市災害時要援護者台帳」を構築し、万が一の事態に備えていきます。



交通安全街頭指導



防災リーダー養成講座

交通安全と防犯対策については、駐在所を「地域安全ステーション」とし、地域防犯活動の拠点として活用していきます。また、小学生の下校時間に合わせた「青色防犯パトロール」の実施、地域の子ども達を守る「子ども守り隊」の活躍など、市民相互の連携による安全安心な地域づくりがすすんでいます。



健康体操サークルで楽しく無理なく運動



玉穂保育園のお絵描きの時間「じょうずに描けたかな？」

生きがいと安らぎの福祉

年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、
すべての市民が住み慣れたこの地域で安心して生き生き暮らしつづけるよう、
地域とも連携を取りながら環境づくりをすすめています。

やすらぎの
拠点づくり



できあがった料理の
レシピも配られます

働きながらの子育てを応援するため
に、市内にある公立保育園6園と私立保
育園1園、加えて認定こども園2園を中
心に、延長保育、一時預かりなどを実施。
増加傾向にある未満児保育にも、定員の
増加や一時預かりを担うファミリーサ
ポートセンターの活用など対応策を講じ
ています。

一方、高齢者には、いつまでも気力体力
が充実した元気な姿でいていただけよう
う、自治会との連携のもと、多様な公民
館活動を推奨しています。また、自分で
歩いて行ける身近な場所でのサロンづく
りもすすめており、コミュニティの一員と
して他者と交流を持ちながら自分らし
く生きられるよう支援していきます。

さらに、学習会の開催などを通して、
障がい者への理解を深めると
ともに、相談支援センターの
開設や発達障がいコーディネ
ーターの教育機関への派遣
など、相談体制も強化し、誰も
が暮らしやすい環境づくりに努
めています。



みんなで集い交流を持つことが元気の源に



料理教室

健やかな暮らしの実現

子どもの笑顔がいっぱいな中央市。
年齢をかさねても幸せな中央市をめざします。

やすらぎの
拠点づくり



親子教室での読み聞かせ



安心して子育てができる環境を提供しています

妊娠・出産・子育てにわたり切れ目のない支援を整備し、母親らが安心して楽しく子育てができるようサポートしています。



ヘルシー栄養教室

各種健康診断や保健指導、健康教室を開催し、「健康長寿」をめざした健康づくり事業を推進しています。



赤ちゃん抱っこ体験

市では中学三年生を対象に「思春期ふれあい教室」赤ちゃん抱っこ体験を実施しています。命の大切さ、育児の大変さを実感し、親への感謝の気持ちを養う機会となっています。

安心と信頼の医療体制

山梨大学医学部附属病院を中心に、多くの医療機関が存在する中央市。
医療機関とも連携しながら、疾病予防や健康づくりに取り組むなど、
市民の健康的な生活を支援しています。

やすらぎの
拠点づくり



山梨大学医学部附属病院の新病棟

県内唯一の先端医療機関である山梨大学医学部附属病院を中心に、市内には内科、外科、小児科、耳鼻科、眼科、精神科、歯科など多くのクリニックが開業しており、安心してかかりつけ医をもつことができます。また、早くから疾病予防や健康づくりに取り組みやすい環境です。地域包括ケアシステムの構築により、医療と介護の連携を推進し、安心して在宅介護・療養ができる環境整備にも取り組んでいます。

まごころをはぐくむ教育

教育の基本として「まごころ」を掲げ、生きる力をはぐくむ教育、
命を大切にする教育、信頼しあう教育を推進しています。

やすらぎの
拠点づくり

市内には、小学校6校と中学校2校があり、落ち着いた環境のもと、バランスの取れた教育が行われています。市では、独自に採用した教員、特別支援教員を各校に配置しきめ細やかな教育に取り組みとともに、外国籍児童・生徒のための通訳派遣や学習支援も行っています。

平成23年に全小中学校共通の取り組みとして始まった「子どもが作る中央市弁当の日」は、今や恒例行事となりました。お弁当作りを通してのふれあいが、良好な親子関係をもたらしとともに、家庭と学校の連携も強まっています。

また、保存会の方々から直々に指導を受ける「粘土節」の授業（田富小学校）をはじめ、地域の特性を活かした特色ある授業も活発に行っています。

一方、中学校では、それぞれの強みを生かした部活動が活発に行われており、関東大会や全国大会出場といった顕著な活躍も見られています。



玉穂中学校剣道部



田富中学校合唱部



伝統工芸にふれる体験学習



小学校入学時に絵本をプレゼントする「新入生ブックプレゼント」

あらゆる世代への学びの提供

あらゆる世代の「学ぶ意欲」に応えるべく、関係機関やボランティアとも協働しながら、ライフステージに応じた多彩なプログラムや、レベルの高いカリキュラムを提供しています。

やすらぎの
拠点づくり

図書館との連携による本好きな子を育てる取り組みや、民間企業やNPO法人、県内各大学のボランティア学生などとの協働による「放課後子ども教室」を実施しています。

成人教育としては、生涯学習プログラムの一層の充実を図るとともに、高齢者学習に特化した「まごころ学園」でも、高いレベルのカリキュラムを実施し、地域の文化創造の拠点づくりをすすめています。専門的な知識を持つ市民が講師を担当するなど、新たな生きがいの創出にもつながっています。また、市内の文化財を巡る「ふるさとウォーキング」や「歴史文化講座」の開催、小学校の地域学習や高齢者の学習会を通して、郷土への理解を深め郷土愛を育む活動にも取り組んでいます。

健康増進を目的としたスポーツ活動も盛んです。市では、誰もがスポーツに親しめるよう生涯スポーツを推進するとともに、施設の整備にも努めています。



図書館イベントの読み聞かせに真剣なまなざしで耳をかたむける子ども達



山梨ビジネスパーク



高部工業用地



国母工業団地



株式会社はくばく



ニプロ医療電子システムズ株式会社

明日を担う商工業の振興

インフラ整備が進むなか、首都圏及び北関東へのアクセスの良さが飛躍的に向上した工業団地。進出企業はじめ、山梨大学や商工会とも連携しながら、産業振興に取り組みます。

活力と交流の
拠点づくり



中央市が誇るB級グルメ「青春のトマト焼そば」

既存商店街との共存を図るべく、大型店の来客を地域の商店へ誘導する方策についても検討しています。

一方、商業については、商工会を中心に活動をしています。青年部が推進する活性化策「中央市まちづくりトマト計画」から、看板メニュー「青春のトマト焼そば」が生まれ、市の新たな名物として定着しています。また、大型ショッピングセンターと

また、山梨大学との包括的連携協定に加え、本市にある多様な業種の企業群と山梨大学が参加する「コンソーシアム」を設立するなど、産学官の連携強化を推進するとともに、製品開発や特許を有効活用し、産業振興を図ります。

圏央道および北関東道路の開通により北関東方面へのアクセスが飛躍的に向上したことから、本市の評価も高まっています。現在、市内にある3つの工業団地には大手優良企業が並び、空き地はほとんどありませんが、経営方針の転換や撤退などあらゆる状況に機敏に対応できるように、今後も優良企業の誘致を続け、雇用の安定に努めます。

新たな視点での 農林業の活性化

活力と交流の
拠点づくり

環境、立地ともに恵まれた環境にある農業。
市場ニーズに合わせた高付加価値農産物の生産や効率的な農業経営を支援するなど、
「都市近郊型農業」としての産地の強化を図ります。



広く知られる中央市産トマトの美味しさ

気候、地形、流通面などで恵まれた条件下にある中央市は、地域ごとに特色のある農業がおこなわれており、美しい農村景観も維持されています。しかしながら、農業従事者の高齢化は確実に進行し、耕作放棄地も増加しています。こうした状況に歯止めをかけるため、市では、各種助成に加え、担い手の育成や、農産物のブランド化、販路拡大などに取り組み、「都市近郊型農業」としての産地の強化を図っています。また、農地拡大に意欲のある農家や農業法人への農地の集約をすすめ、効率的な農業経営ができるよう支援し、一般財団法人中央市農業振興公社と連携し、収穫体験農園や教育ファームも実施しています。

市内にある2つの農産物直売施設は、市内外から多くの来客があり、農家の経営を支えています。市では、今後こうした施設への支援を続け、地産地消も推奨していきます。



「た・から」農産物直売所では生産者の名前がわかるようにディスプレイしている



付加価値をつけた農産物のブランド化に成功したお米「富穂」



教育ファームの田植え体験



平成21年度全国直売所甲子園にて優勝した「道の駅とよみ」は重要な観光拠点でもある



山の神千本桜登山道にある展望台からの眺望



大根の収穫体験



親子ふれあい農村体験(ジャガイモの収穫)



スイートコーン収穫祭では収穫体験が大人気!



春になると多くの人が訪れる山の神千本桜

連携と挑戦の観光振興

農業との連携による体験型観光や新たな観光ルートの開発、イベントの開催、観光キャンペーンなどに取り組み、交流人口の増加と地域の活性化を図っています。

活力と交流の
拠点づくり



シルクふれんどりいのもぎ織り体験



シルクふれんどりいでは陶芸や
シルクフラワー制作なども体験できる

市では、集客力のある「道の駅とよとみ」を重要な観光拠点と位置づけ、魅力ある特産品の発信や開発に取り組み、季節ごとに収穫祭やイベントを開催し、交流人口の増加を図っています。また、人気が高まっている体験型の観光資源として、「シルクふれんどりい」で、繭工芸、つむぎ織り、陶芸が楽しめる体験工房を開催しているほか、農業振興公社との連携により、ジャガイモや大根の収穫ができる体験農園も実施しています。

さらに、中央市をより楽しんでもいただくため、市内の2つの農産物直売所や温泉施設、史跡、登山道などを巡る観光コースを設定し、観光パンフレット等で案内するとともに、観光キャンペーン等を活発に行い、さまざまな魅力を広く発信しています。